

第16表

社会福祉施設数・収容者数

本表は生活保護法、児童保護法等によるもので各年とも12月末現在のものであるが、児童相談所は12月中の受付件数である。

施設別	昭和41年						昭和42年					
	施設数			収容人員			施設数			収容人員		
	総数	民営	公営	総数	民営	公営	総数	民営	公営	総数	民営	公営
総数	601	269	332	45 764	20 321	25 443	657	299	358	43 384	23 348	20 036
養護老人ホーム施設	26	15	11	2 247	182	2 065	27	13	14	2 671	1 127	1 544
救護老人施設	8	3	5	536	175	361	9	6	3	625	435	190
更生施設	6	2	4	1 080	400	680	5	3	2	740	500	240
宿舎施設	3	-	3	552	-	552	9	9	-	1 787	1 787	-
授産施設	4	-	4	260	-	260	4	-	4	260	-	260
医療保護施設	19	17	2	2 906	2 386	520	15	13	2	2 627	2 334	293
婦人保護施設	4	-	4	255	-	255	4	4	-	255	255	-
乳児院	5	3	2	250	150	100	6	6	-	259	259	-
養育院	41	33	8	3 442	2 652	790	41	34	7	3 405	2 645	760
精神薄弱児施設	9	5	4	551	261	290	9	5	4	551	261	290
精神薄弱児通園施設	5	2	3	200	80	120	5	2	3	200	80	120
教養施設	2	-	2	374	-	374	2	-	2	374	-	374
肢体不自由児施設	1	-	1	80	-	80	2	-	2	200	-	200
盲啞児施設	2	2	-	80	80	-	2	2	-	80	80	-
児童厚生施設	44	13	31	-	-	-	63	12	51	-	-	-
助産施設	14	6	8	107	71	36	14	6	8	107	71	36
母子寮	25	6	19	1 907	555	1 352	23	5	18	540	140	400
保母施設	355	153	202	27 138	12 367	14 771	387	164	223	27 287	12 882	14 405
児童相談所	8	-	8	-	-	-	8	-	8	-	-	-
身体障害者施設	4	-	4	196	-	196	5	1	4	224	30	194
精神薄弱者保護施設	3	1	2	232	32	200	4	2	2	242	32	210
結核回復者後保護施設	1	1	-	80	80	-	1	1	-	80	80	-
特別養護老人ホーム	5	2	3	630	400	230	5	3	2	630	230	400
軽費老人ホーム	3	3	-	170	100	70	4	3	1	190	120	70
老人福祉センター	3	2	1	-	-	-	4	2	2	-	-	-
情緒障害児短期治療施設	1	-	1	50	-	50	1	-	1	50	-	50

資料 大阪府民生部社会課、婦人児童課、大阪市民生局庶務課。

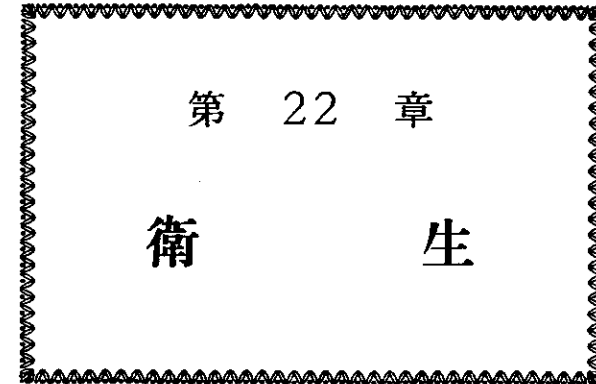
第17表

共同募金額・配分額

各年とも募金額には前年度配分不要繰越金・配分額には経費充当額・次年度運動準備金・繰越配分額が加えられていない。

募金区別	募金額				配分先別	配分額			
	昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度		昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度
総額	115 195	128 216	139 713	115 946	総額	95 974	108 119	117 514	96 346
戸別募金	75 874	72 582	87 061	78 880	社会福祉施設	29 825	29 771	29 565	31 566
法人募金	9 091	15 875	6 895	6 500	保育所託児所	5 004	4 652	4 625	8 174
学校職域募金	6 526	6 788	6 846	3 950	隣保館児童館遊園地	3 218	3 448	3 348	5 443
街頭募金	4 600	5 838	6 793	3 109	社会福祉事業団体	1 930	2 130	2 230	400
パッチ収益金	16 016	16 337	15 429	9 097	府市社会福祉協議会	7 158	7 567	7 158	5 700
その他	3 088	10 796	16 689	14 410	更生援護資金	7 474	7 580	7 796	8 970
					地域社会福祉協議会	39 756	44 347	48 792	35 994
目標額	75 000	75 000	75 780	81 000	らい患者慰安費	1 609	8 624	14 000	100

資料 社会福祉法人大阪共同募金会。



第 22 章

衛 生

病院、病床等の概況

府下の昭和42年末医療施設数は7,923所で前年に比較すると85所(1.1%)の増加となっている。これを種類別にみると病院では総数421施設で、その内訳は一般病院367施設(87.6%)と大半をしめ、前年に比べると3.9%(12施設)の増加である。ついで精神病院では36施設(8.6%)で前年より5.9%(2施設)の増加となっている。これにくらべ結核療養所は13施設(2.9%)で前年より2施設(25%)減少している。また人口10万対でみると病院総数では約6.0施設、一般病院では5.3施設などであり、1病院あたりの人口は、病院総数では1万7,000人、一般病院では1万9,000人となっている。

ついで一般診療所では総数5,207施設で前年比は32施設の増加である。そのうち無床診療所は全体の72%、有床診療所は28%をしめている。人口10万対でみると診療所数は73.7施設、1診療所あたりの人口は約1,400人となっている。歯科診療所では総数2,295施設で前年比40施設(1.7%)の増加を示している。人口10万対でみると32.5施設で、1診療所あたりの人口は約3,100人である。

また病床数をみると総数7万899床でその内訳は病院が6万3,008床、一般診療所7,886床、歯科診療所5床となってこれを前年に比べると、病院では3,212床(5.5%)、一般診療所32床(0.4%)といずれも増加しているのに対し歯科診療所は4床(44.4%)の減少となっている。

また在院患者延数(診療所を含まない)は1,874万2,000余人でその内訳は一般病床で1,392万2,000人(74.2%)、精神病床369万7,000人(19.7%)、結核病床110万6,000人(5.9%)、伝染病床1万7,000人(0.9%)の順となっている。1日当りをみると5万1,000人となり前年より3,000人の増加となっている。

新入院患者数は年間37万9,000人で1日当り1,000人強となり、年間外来患者数は2,537万1,000人と人口増加とあいまって年々増加の傾向を示し、1日当りでも6万9,000余人と前年より3,000人の増加を示している。

次に医師総数は8,569人で前年末より58人(0.7%)の増加となっている。医師総数のうち男は86.7%、女は13.3%の割合となっている。医師1人当りの人口は824人(前年803人)となりわずかながら上昇している。また人口10万対でみると年々下降の線をたどり121.4人となった。これらの低下は近年における本府の急激な人口増加の影響と思われる。人口増加と施設整備に時間差のある限りかかる傾向は今後も続くものと考えられる。その内訳は医師8,569人歯科医師2,800人獣医師590人、薬剤師6,910人となっている。

死亡の概況

出生数は年々増加の傾向を示しているが、死亡数では3万7,657人と前年のそれとほぼ同数で、人口1,000人に対して38年5.7人、39年5.6人、40年5.6人、41年5.6人、42年5.4人となって、最近ではほぼ一定した死亡率を示している。

また疾病についても早期発見・早期治療化への移行が進みつつあって平均寿命も年々長くなっている。

死因別死亡数を上位からみると「中枢神経の血管損傷」7,400人(19.81%)が依然としてトップを示し、続いて「悪性新生物」7,100(18.93%)、「動脈硬化性、変性性心臓疾患」3,400人(9.12%)、「精神病の記載のない老衰」3,000人(7.99%)、「その他のすべての疾患」2,800人(7.57%)、「その他の不慮の事故」1,400人、「呼吸器系の結核」1,400人、「肺炎」1,200人、「自殺、自傷」1,000人、「自動車事故」800人の順となり成人病による死亡割合が最高を占めている。また「自動車事故」「不慮の事故」は依然として減少の傾向をみせていないが、結核については年々減少を示している。

伝染病患者の概況

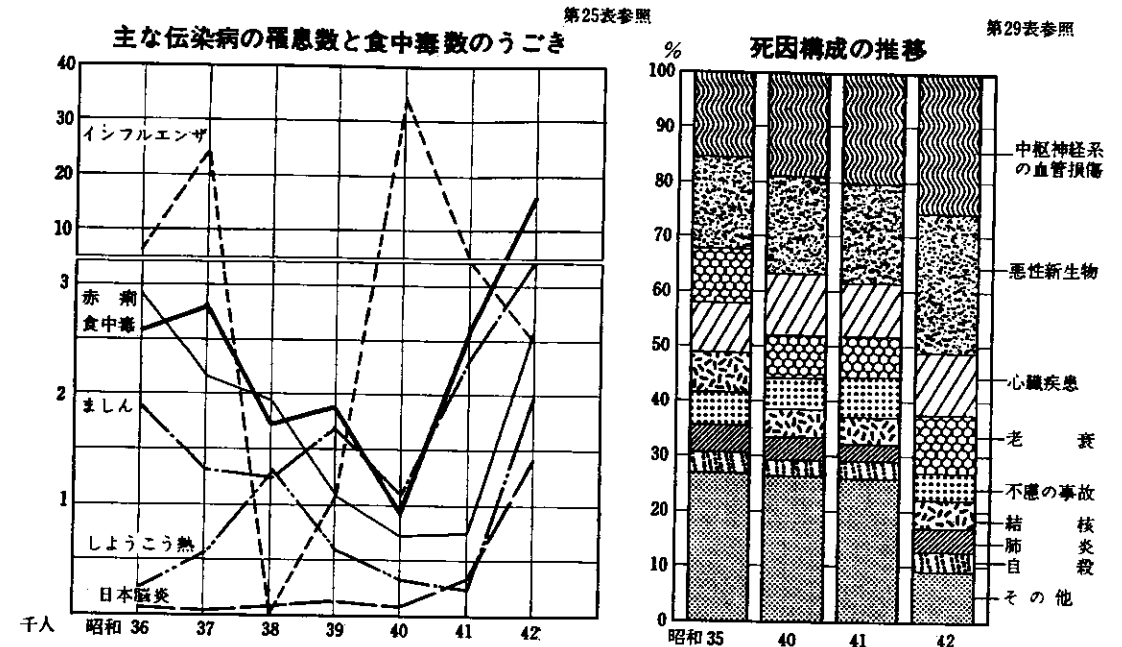
府下における法定、指定伝染病患者の総数は699人で昨年の1,484人より790人(53.1%)も減少しているのが注目される。その内訳をみると法定伝染病では赤痢259人(64.2%)、腸チフス26人(39.5%)、パラチフス4人(55.5%)、日本脳炎143人(58.5%)といずれも前年より約50%減少し、その他でも若干の減少がみられる。届出伝染病においても昨年の6,891人から急激に800人になったがこれはいずれも市町村または保健所における衛生思想の普及、予防活動の効果ならびに府民の衛生観念の向上を物語るものであろう。

体格

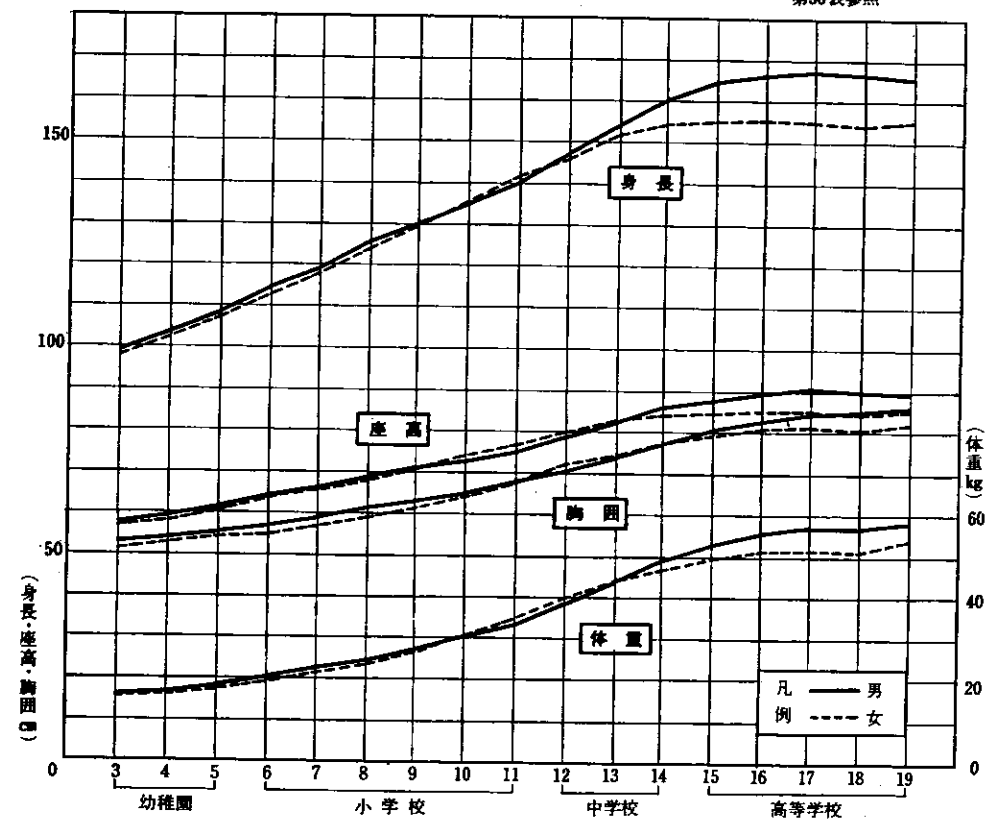
本年における府下の生徒、児童、幼児の発育状況をその最も顕著な男子14才、女子12才をとって昭和30年と比較してみると、男子では身長8.3cm、体重6.7kg、胸囲3.4cm、座高3.9cm、女子は身長6.0cm、体重4.4kg、胸囲3.5cm、座高2.5cmといずれも伸び、戦後調査が初めて実施された昭和23年の男子137.8cm、女子139.6cmにくらべると男子22.5cm、女子では8.3cm大きくなっていく。また最近では年間発育量の最も大きい年齢が低年齢層にうつる傾向をみせている。なお、大阪府では平均体格が全国を上廻っているものの、体力の整わない長身細胸の都会型となっている。

公害の概況

大気汚染、水質汚濁をはじめとする公害が国民生活に重大な問題となっているが、当府においても大阪市周辺における積極的な工場誘致と都市の過密化の進行、住宅の郊外への移行を反映して公害地域が拡大する傾向にあるので、公害行政として法令による規制、スモッグ対策、公害監視センターの設置など種々対策が講じられている。なお、昭和42年における府下の公害陳情件数は619件のうち騒音によるものが239件(38.6%)で最も多く、また一方、公害防止条例に基づく届出件数は7,278件で、うち工場設備等の増設によるものが5,460件(75.0%)と最も多い現状である。



年齢別に見た幼児・児童・生徒の平均体位



第1表 病院・診療所数および病床数

本表の数字は「医療施設調査」によるものである。なお「病院」とは患者20人以上の収容施設のあるものをいい、「診療所」とは患者の収容施設をもたないもの、または患者19人以下の収容施設しかもないものをいう。らい療養所は該当がないので省略した。

Table with columns for year (昭和38, 39, 40, 41, 42) and hospital types (総数, 精神病院, 結核療養所, 伝染病院, 一般病院, 一般診療所, 歯科診療所, 性病病院). Includes sub-columns for beds and facilities.

資料 大阪府衛生部総務課「衛生年報」

第2表 医師・歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・獣医師数

本表の医師、歯科医師、獣医師数は医師法、歯科医師法、獣医師法にもとづくそれぞれの届出数を集計したものであり、歯科衛生士、歯科技工士数は「厚生省報告例」によるもので従業地主義をとっている。ただし獣医師数は居住地主義である。

Table with columns for year (昭和38, 39, 40, 41, 42) and professions (医師, 歯科医師, 歯科衛生士, 歯科技工士, 獣医師). Includes sub-columns for total and specific facility types.

資料 大阪府衛生部総務課、「衛生年報」同農林部畜産課

第3表 薬剤師・保健婦・助産婦・看護婦・準看護婦・看護人数

本表の薬剤師数は薬剤師法にもとづく届出数を集計したものであり、保健婦、助産婦、看護婦、準看護婦、看護人数は「厚生省報告例」によるものであり、いずれも従業地主義によるものである。

Table with columns for year (昭和38, 39, 40, 41, 42) and professions (薬剤師, 保健婦, 助産婦, 看護婦, 準看護婦, 看護人). Includes sub-columns for total and specific facility types.

資料 大阪府衛生部総務課「衛生年報」

第4表 その他の医療、衛生関係従事者数

本表の診療X線技師、衛生検査技師数は「医療施設調査」による従事者、衛生管理者数は「労働基準法」による免許証所有の医師でない専任者、栄養士数は「栄養士法」による届出数を集計したものである。乳業士数は「乳業の販売及び取扱に関する条例(大阪府)」による甲種乙種の免許証所有者、眼鏡士数は大阪目衛生協会への登録者、調理師数は「調理師法」にもとづく免許証所有者、あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師数は「厚生省報告例」によるものである。

Table with columns for year (昭和38, 39, 40, 41, 42) and professions (診療X線技師, 衛生検査技師, 衛生管理者, 栄養士, 乳業士, 眼鏡士, 調理師, あんま師, はり師, きゅう師, 柔道整復師).

資料 大阪府衛生部医務課、同食品衛生課、同予防課、大阪労働基準局。

第5表 病院の在院患者延数および病床利用率

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、在院患者延数は毎日午後12時現在に在院している患者数を1年分合計したもので、病床利用率は各年の(6月末在院患者数/6月末病床数)×100である。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year (昭和38, 39, 40, 41, 42) and hospital metrics (在院患者延数, 病床利用率). Includes sub-columns for total and specific hospital types.

資料 大阪府衛生部総務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第6表 病院の新入院患者数および外来患者延数

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、外来患者延数は来院、往診、巡回診療をした患者延数で、同一患者が2つ以上の診療科で受診した場合それぞれとして計上してある。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year (昭和38, 39, 40, 41, 42) and hospital metrics (新入院患者数, 外来患者延数). Includes sub-columns for total and specific hospital types.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第7表 人工妊娠中絶件数

本表の数字は厚生保護法にもとづく医師の届出票を集計したものである。

Table with columns for year (昭和38, 39, 40, 41, 42) and age groups (総数, 20歳未満, 20~24歳, 25~29歳, 30~34歳, 35~39歳, 40~44歳, 45~49歳, 50歳以上, 年齢不詳).

資料 大阪府衛生部衛生総務課「人工妊娠中絶半年報」

第8表 食品衛生関係営業施設数

本表の数字は大阪府内における許可を要する営業施設および要しない営業施設の数が許可を要しない施設については概数である。

Table with columns for year (昭和38, 39, 40, 41, 42) and facility types (飲食店, 喫茶店, 菓子製菓業, アイスクリー姆類, 市乳, 食肉, 魚介類, 清涼飲料水, 氷雪, みそ, 醤油, 酒類).

資料 大阪府衛生部食品衛生課「厚生省報告例」

第9表

と畜場・牛乳処理業数、と畜・乳牛検査頭数および狂犬病予防状況、ねずみ捕獲数

本表のと畜場数、と畜検査頭数、狂犬病予防状況は「厚生省報告例」によるものである。ねずみ捕獲数は本府でまとめた数字である。

Table with columns for year, number of slaughterhouses, inspection counts for various animals, rabies prevention statistics, and rat capture counts.

資料 大阪府衛生部食品衛生課、同環境衛生課、同農林部畜産課。

第10表 環境衛生関係営業施設数および従事者数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table showing the number of establishments and staff in various hygiene-related businesses like hotels, public baths, and beauty salons.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、大阪市衛生局環境衛生課。

第11表 環境衛生関係営業施設数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。但し、再生資源関係営業施設数は「大阪府再生資源営業取締条例」にもとづく許可施設数である。

Table listing the number of establishments in various recycling and resource-related businesses.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、大阪市衛生局環境衛生課「衛生行政業務報告」

第12表 結核予防法による健康診断状況

本表は「保健所運営報告」によるもので、結核予防法にもとづく定期、定期外の合計である。

Table detailing tuberculosis prevention health checkup status, including number of examinees and detected cases.

資料 大阪府衛生部予防課、厚生省大臣官房統計調査部

第13表 性病、予防接種、寄生虫、トラホーム予防状況

本表は「保健所運営報告」によるものである。予防接種被接種者数は予防接種法にもとづく定期、臨時の合計である。寄生虫検査の有罪者数のうち、1人で2種以上にわたるものはそれぞれに計上してある。

Table showing statistics for venereal diseases, vaccinations, parasites, and trachoma.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「保健所運営報告」

第14表 衛生検査延件数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table showing the number of delayed health inspection cases across various categories.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第15表 薬事関係業者数

本表欄頭の医薬品販売業のうち「一般」とは総ての医薬品について販売できる業利師の管理している業者「薬種商」とは法律に定められた指定医薬品を除くもの取扱をする業種商の資格のある業者「配置」とは置き薬として認められた置き薬業者「特例」とは法律で定められた特定の品目のみを取扱う資格を要しない業者()内の数字は内数で衛生材料製造業

Table showing the number of pharmaceutical-related businesses categorized by type and product.

資料 大阪府衛生部薬務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第16表 麻薬中毒者数

本表は本府でまとめた数字であるが、昭和40.41.42年については、がんおよび結核末期のものを除いたものである。

Table showing the number of opiate addicts, categorized by age and gender.

資料 大阪府衛生部薬務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第17表 個別健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

保健所運営報告によるもので、計数は各年中における保健所内および所外の合計である。なお、1)には歯科および性病診断を含む。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (総回数), total staff (総人員), adult patients (成人病), mothers (母), children (子), and other treatments (療育その他). Rows list various health centers like 昭和39年, 府保健所, etc.

資料 大阪府衛生部衛生総務課(衛生年報)

第18表 集団健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

前表頭注参照。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (総回数), total staff (総人員), adult patients (成人病), mothers (母), children (子), and other treatments (療育その他). Rows list various health centers like 昭和39年, 府保健所, etc.

資料 大阪府衛生部衛生総務課(衛生年報)

第19表 公害防止条例に基づく届出件数と公害防止陳情件数

本表は各年度ごとに本府でまとめたもので、41年より法改正のため内訳の名称が変っている。※印は昭和42年度のものである。

Table with columns for city/town/village (市町村), public nuisance prevention ordinance-based reports (公害防止条例に基づく届出件数), and public nuisance complaints (公害防止陳情件数). Rows list various municipalities like 昭和38年度, 大阪府, etc.

資料 大阪府企画部公害室指導課

スモッグ概況

第20表

本表中1型とは基準測定点3点(大阪府立公衆衛生研究所、大阪市立衛生研究所、堺中央保健所)のうち、2点以上の前日午前9時から10時の間に測定した亜硫酸ガスおよび無水硫酸の濃度がともに0.10ppmであるとともに、基準測定点のうち2点以上の前日午前9時から10時の間に測定した浮遊ばいじんの量がともに1mg/1m³以上であり、かつ当日早朝(午前6時)の風速が弱い(1.5m/sec以下)場合、2型とは当日早朝の風速が著しく弱い(1m/sec以下)場合ただし原則として当日早朝の天気が雨雲の場合を除く。3型濃霧注意報が発表された場合、4型当日スモッグが発生し、その視程が500m以下でかつ風等の資料から濃霧(濃霧を含む)の持続が予想される場合。霧(湿度75%以上、視程0.2km未満)濃煙霧(湿度75%以下、視程2km未満)、濃いもや(湿度75%以上、視程1km以上2km未満)のうち雨量の観測のなかつたものを「スモッグ」とした。

Table with columns for year, smog alert frequency (types 1-5), pollution concentration (府公衛研, 市衛研), smog occurrence days, and smog occurrence duration (霧, 濃煙霧, 濃いもや).

資料 大阪府企画室「公害施策の概要」

第21表 公害・苦情・陳情発生状況

本表は昭和39年度中にあった陳情件数の合計である。

Table showing pollution types and complaint counts for various municipalities in Osaka Prefecture, categorized by air pollution, water pollution, noise, and odors.

資料 厚生省。

注1) 茨城県と埼玉県のその他は悪臭「その他」の合計である。

第22表

大気汚染状況

本表は大阪府公衆衛生研究所、梅香中学校、池田保健所で観測したもので、亜硫酸ガスは電気伝導法、浮遊粉じんはデジタル粉じん計によるそれぞれの1時間毎の平均値を示す。

(1) 亜硫酸ガス

Table showing SO2 concentration (ppm) by month and location (公衛研, 梅香中, 池田保健所) with daily average, monthly average, and maximum values.

資料 大阪府公衆衛生研究所

(2) 浮遊粉じん

前表参照のこと。

Table showing suspended particulate matter concentration (mg/m³) by month and location (公衛研, 梅香中, 池田保健所) with daily average, monthly average, and maximum values.

資料 大阪府公衆衛生研究所

第 23 表

ごみ収集および処理状況

本表は昭和42年度中に取扱った合計で、本文中の計画収集量とは処理計画量である。

Table with columns for collection status (total, municipal, private) and processing status (total, incineration, landfill). Rows list municipalities and prefectures from Shiga to Osaka.

第 24 表

し尿収集および処理状況

前表項注参照のこと。

Table with columns for collection status (total, municipal, private) and processing status (total, sewerage, treatment). Rows list municipalities and prefectures from Osaka to Shiga.

第 27 表

性病・結核・らい・食中毒患

前表項注参照のこと。なお、全結核は本省発表の確定数であるが、その内訳は本府で集計したものである

Table with columns for year/month, sex, and disease categories (Total, Syphilis, Venereal, Gonorrhea, etc.).

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生年報」伝染病簡速統計週報

第 28 表

市 郡 別、年 齢 階

本表は「人口動態調査」によつた府下在住の日本人に就するもので府外で死亡したのも含まれる。

Table showing population statistics by city/county and age group (0-4, 5-9, 10-14, etc.).

資料 大阪府衛生部衛生総務課「人口動態調査票」

者数、罹患率および死亡者数

るため、死者数の計は合致しない。罹患率は人口10万対である。

Table with columns for tuberculosis, pneumonia, and food poisoning, including patient counts, incidence rates, and deaths.

級 別 死 亡 者 数

なお、昭和38、39、40年の数字は本府で集計した概数で住所地に紐替えのため作業におくれがあるので国の発表した数とは若干合わない。

Table showing death counts by age group (35-39, 40-44, 45-49, etc.).

第29表

月別死因別

本表は「人口動態調査」によつた府下の日本人に於けるもので、府外で死亡したものも含まれる。なお、

Table with columns for cause of death (死因), total number of deaths (総数), and monthly breakdown (昭和38年, 昭和39年, 昭和40年, 昭和41年, 昭和41年1月). Rows include categories like tuberculosis (結核), infectious diseases (感染症), and injuries (外傷).

資料 厚生省大臣官房統計調査部「人口動態統計月報」

死亡者数

死因分類は国際疾病、傷害および死因統計分類にもとづいている。

Table showing the number of deaths (死亡者数) by month (2月 to 12月) for the year 1941 (昭和41年). Rows list various causes of death such as tuberculosis, infectious diseases, and injuries.

第30表

幼児、児童、生徒の平均体格

本表は「学校保健統計調査」による府下児童の平均体格を示している。

Table with columns for age (年), sex (性別), and physical measurements (身長, 体重, 胸囲, 座高) for various school levels (幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校) across different years (昭和30年, 昭和35年, 昭和42年).

資料 大阪府企画部統計課。

第31表 幼児、児童、生徒の比体重、比胸囲、比座高

前表を参照のこと。比体重=体重/身長²×100 比胸囲=胸囲/身長×100 比座高=座高/身長×100 で小数点2位を4捨5入してある。

Table showing ratios of weight, chest circumference, and sitting height for children and students across different school levels (幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校) and ages (3歳 to 19歳).

資料 大阪府企画部統計課(学校保健統計調査)

第32表

幼児、児童、生徒の疾病異常該当者率

前表を参照のこと。但し、本表は受検人員に対する該当者率を示す。該当者率は小数点2位を四捨五入してある。なお、ゴシック体は受検率である。

Table showing the percentage of children and students with various diseases and abnormalities, categorized by school level (幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校) and sex (男, 女).

資料 大阪府企画部統計課(学校保健統計調査)

第33表 摂取栄養量(1人1日当り)

本表は「国民栄養調査」によるもので調査時期は年4回5、8、11月および翌年2月の各月とも連続した3日間の状況で年平均である。39年からは法規則の改正により年一回となつた。栄養量はすべて調理による摂取を考慮してない。なお39年栄養基準定の成分表の改訂が行なわれた。

Table with columns for years (昭和37-42) and nutrients (純熱, 蛋白質, 脂肪, 炭水化物, ビタミン). Rows include national and Osaka Prefecture averages.

資料 大阪府衛生部食品衛生課「国民栄養調査」 第34表 府県別医療施設関係者数

本表は各年末現在数で1)、2)、3)は実務に従事するものである。4)は「医療施設調査」によるものであるが、ここでは歯科診療所を含まない。

Table showing medical facility personnel counts by prefecture (府県) and year (昭和37-41). Columns include total counts and specific roles like doctors, dentists, and nurses.

資料 厚生大臣官房統計調査部「医師、歯科医師、薬剤師調査」衛生行政業務報告(日本統計年鑑)

第23章

司法および警察